

公立大学法人横浜市立大学第4期中期目標について

1 スケジュール

	法人評価委員会	市 会
3月	14日 スケジュール・中期目標検討の 視点	
5月		< 常任委員会 > スケジュール・検討状況報告
7月	中期目標(素案)・中期計画(案)の検討	
8月	中期目標(素案)・中期計画(案)の検討	
9月		< 常任委員会 > 中期目標(素案)、 中期計画(案)の報告
11月	中期目標(案)に対する法定意見聴取	
12月		中期目標の議決
2月	中期計画(案)に対する法定意見聴取	
3月		< 常任委員会 > 中期計画(案)の報告
3月		中期計画の認可

- 2 第4期中期目標の策定（第4期中期計画の認可）における基本的考え方
 3期18年間の取組を振り返るとともに、現下の市政を踏まえ、次の6つの視点から、中期目標を策定します。

< 6つの視点 >

○ 大学改革の取組の強化

- ・「自主的・自律的な大学運営の確立」
- ・「横浜市が有する意義のある大学」
- ・「市民に支えられた大学として、横浜に貢献できる大学」

出典：横浜市立大学の新たな大学像について（H15.10.29 横浜市立大学）

- 市内他大学の市・区・地域との連携の高まりを踏まえた取組の強化

- 国立大学における大学改革の取組を踏まえた取組の強化
 - ・「地域ならではの人材育成の推進」
 - ・「地域ならではのイノベーションの創出」
 - ・「連携の推進」出典：これからの時代の地域における大学の在り方について
(令和3年12月中央教育審議会大学分科会)

- 研究成果の社会実装や知的資源の市民等への還元、外部資金獲得に向けた取組の強化

- 市の財政ビジョン（素案）※を踏まえた法人としての経営改善計画の策定（経営基盤の強化）
 - ※今後、人口減少や高齢化の進展等により財政状況がより一層厳しさを増すことが見込まれていることから、横浜市では、債務管理、歳出改革、資産経営などについて、中長期的な財政方針を策定するものです。（令和4年1月28日公表）

- 法人・大学の責任の所在の明確化とガバナンスの強化